

【小施策評価(令和元年度実績評価)】

小施策の総合計画における位置付け

基本目標	1	人がいきいきと暮らすまちづくり	小施策 主管課等	市民協働推進課
施策	9	地域コミュニティの維持・活性化	評価 責任者	熊谷 修二 内線 2110
小施策	9-1	コミュニティ活動の支援	評価 シート 作成者	小山 訓 内線 2111

小施策の概要

現状と課題(総合計画実施計画から転記)	取組の方向性(総合計画実施計画から転記)
町内会・自治会においては地域の安全・安心を守る活動や住民同士の親睦を深める活動が自主的に行われており、また市の施策に対しても理解と協力をいただきながら、連携してまちづくりを進めている。 また、市内全30のコミュニティ推進地区組織においては、地域の課題に対応した様々な取組を行っていただき、そのうち12の地区においては、地域の課題解決・将来像の実現のため、地域づくり計画を策定していただき、地区にあるさまざまな主体と一緒に、市の補助金を受けて様々な事業を行う地域協働によるまちづくりに取り組んでいただいている。 しかし、少子高齢化の進行により活動の担い手が不足している。活動への参加者が少ないといった、地縁団体の持続的な活動に対する不安が生じてきており、これらの課題を市と地域と一緒に解決する必要がある。	町内会・自治会が、住みよいまちづくりのための活動を将来にわたって持続的に展開できるよう、町内会・自治会の役員の事務負担軽減に向けた取組や、市と地域とのパイプ役を担う体制の整備などの支援策を進めていく。 コミュニティ推進地区組織においては、地域の特性に合わせた主体的な活動や地域協働による取組の更なる促進を図る。 また、さまざまな団体等と市が、連携・協力しながらまちづくり活動を行う「市民協働」を推進する。
対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(具体的に対象をどのような状態にしたいのか/対象+成功状態)
町内会・自治会 コミュニティ推進地区組織	団体が持続的な活動展開を行っていただくための支援をする。 その活動を市民全体に周知するとともに、活動のリーダーを養成する。

小施策の成果指標の達成状況・評価(令和元年度実績)

実績値の推移				実績の評価		
指標	単 位	目指す方向	成果点	成果の要因分析	問題点	問題の要因分析
指標① 町内会・自治会への協働推進奨励金支給率	%	↗	当初値 (H25) 0.0 R1目標値 100.0 R6目標値 100.0 	・制度実施4年目を迎え、制度に対する理解が進んだ。 ・各種補助事業の一本化及び簡素化による町内会の事務負担軽減を図った。	・個別町内会への資料作成の補助を行う等、町内会の負担軽減を行いながら、制度に対する理解が進むよう取り組んだ。	
指標② コミュニティリーダー研修会、人材養成講座への参加人数	人	↗	当初値 (H25) 201 R1目標値 220 R6目標値 250 	・コミュニティリーダー研修会の参加者の約90%が「参考になった」と回答。地域活動に必要な知識・技術の普及が図られた。	・コミュニティリーダー研修会を第1部事例発表、第2部講演、第3部トークイベントの3部構成として行い、多くの活動事例を発表し、様々な参加者に向けた内容に工夫した。 ・地域づくりの活動で注目されているNPO法人ハンズオン埼玉の理事を講師に招き、テーマを「お客様をつくらない地域づくり」と題して、町内会・自治会をはじめとする地域コミュニティ団体の役員の担い手不足や高齢化、参加者の固定化や減少化、活動のマンネリ化などの課題に対して、原因の1つである住民の「お客様」化を「当事者」に変えていく仕組みづくりに多くの参加者が共感した。	
			・町内会活動が困難な町内会からの書類提出を促す。 ・子ども会との関係性が希薄な町内会にとって、子ども会の育成会加入人数等に関するやり取りが難しい。 ・子ども会が子ども会育成会連絡協議会に加入したことを確認してから支出をするため、奨励金の支払いが遅くなる町内会がある。	・少子高齢化及び世帯数の減少により、町内会活動を行うことができない。 ・商店を中心とした地域において、居住世帯数が少なく、町内会活動が存在しない。 ・町内会と子ども会の関係性が希薄化している。 ・子ども会の会長は毎年変更となる場合が多く、引継ぎが上手くいっていないため、子ども会育成会連絡協議会への加入手続き等が遅れてしまう。	・人材養成講座については、参加者が減少している状況から令和元年度を市民ニーズの調査・研究を行う期間とし、実施しなかった。全体の参加者数は、コミュニティリーダー研修会の参加者が増えたため、横ばいとなった。	・市民ニーズを的確に捉えなければ、コミュニティ活動の支援とする研修会・講座の参加者数は増えない。

今後の方向性(令和2年度以降)

評価を踏まえた取組の方向性	★…R2年度着手済または着手予定 ☆…R3年度以降の着手を検討
<ul style="list-style-type: none"> ★ 町内会活動に消極的な団体への制度周知に努めた上で、各町内会ごとの活動の助言等を行い、活性化を図る。 ★ 盛岡市町内会・自治会協働推進計画の見直しに併せて、制度内容の見直しを行う。 ☆1 令和元年度及び2年度に町内会・自治会から聞き取った意見を反映させ、制度の簡素化を図る。 	
<ul style="list-style-type: none"> ★ アンケート調査の結果などから市民ニーズを踏まえたコミュニティリーダー研修会及び人材養成講座の開催を図る。 ★ 多くの参加者を集めるため、実施時期、会場設定、周知方法などについてもアンケート調査の結果などを踏まえて行う。 	